

2023 年度 小委員会活動成果報告

(2024 年 2 月 15 日作成)

小委員会名	フローティング建築小委員会	主 査 名：吉田郁夫 就任年月：2022 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	海洋建築委員会	委員長名：桜井慎一 主 査 名：
設 置 期 間	2022 年 4 月 ～ 2026 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・ 設置目的</p> <p>土地の拡張手段として都市や建築を浮体式として設置する構想があり、昨今では欧米諸国を中心にフローティング建築が実現し始めている。フローティング建築は、近年の気候変動の拡大に伴う海面上昇や、異常気象による洪水、地震による津波などによる建築物の被害を最小化する技術として世界的に注目されており、今後、更なる普及・発展が予想される。本小委員会では、国内外のフローティング建築の事例収集を行い、計画面及び技術面から浮体式建築の機能性、利便性、安全性を整理するとともに、設計ガイドラインや安全基準などを検討する。</p> <p>・ 各年度活動計画</p> <p>初年度：国内外の事例収集 2 年度：計画面、技術面から機能性、利便性、安全性を研究 3 年度：設計ガイドライン、安全基準などの検討 4 年度：報告書作成</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：有	
	主査：吉田 郁夫 清水建設 幹事：菅原 遼 日本大学 委員：植木 卓 (JFE スチール)、居駒 知樹 (日本大学)、北嶋 圭二 (日本大学) 畔柳 昭雄 (日本大学)、小林 昭男 (日本大学)、高橋 孝二 (日本大学) 高橋 武宏 (一条住宅研究所)、増田 光一 (日本大学)、 増田 光弘 (東京海洋大学)、宮崎 渉 (日本大学)、山田 沙代 (清水建設) 和木 洋 (H.R.D.SINGAPORE)	
設置 WG (WG 名：目的)		
2023 年度予算	90,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	
大会研究集会	1. 2023 年度日本建築学会大会 (近畿) 学術講演会 日本国内におけるフローティング建築の建設動向と関連法制度の系譜
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 国内の事例を収集し、関係法制度の系譜としてまとめ、中間報告とした。
委員会活動の問題点 ・ 課題	1. 特になし